

市立幼稚園における特別支援教育等  
に関する検討委員会

<第4回会議資料>

令和3年（2021年）7月30日（金）

午前10時～

熊本市役所 駐輪場8階

熊本市教育委員会

## 本日の審議事項

### 審議内容

#### (本日の審議内容)

#### ○少人数支援クラス（3歳児）の設置及び職員の加配について

小学校への円滑な就学のために、幼児自身の自己肯定感を育み、安心して集団生活を送ることができるよう、主に3歳児を対象とした一人一人に応じたよりきめ細かな対応を行う少人数支援クラスの設置についてご議論いただきたい。なお、4歳児以降は、職員を加配した通常クラスへの進級を想定している。

#### ○報告書（案）について

本検討委員会での議論をまとめた報告書について、さらに盛り込む内容等についてご議論いただきたい。

## ■ 少人数支援クラス（仮称）の設置及び職員の加配について

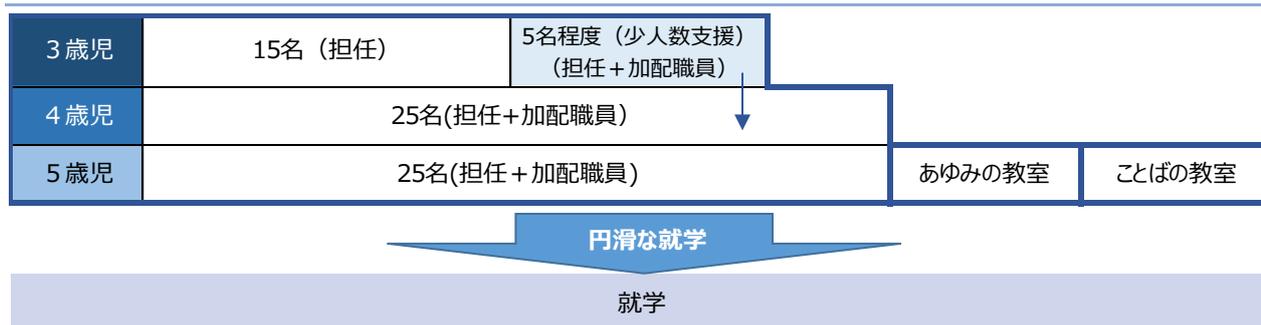
特別な配慮を必要とする児童は年々増加傾向にあり、特に小学校において知的障害特別支援学級・自閉症・情緒障害特別支援学級における在籍者が著しく増加し、平成 18 年度（2006 年度）に比べ令和 3 年度（2021 年度）は、知的障害特別支援学級在籍者は約 4.1 倍、自閉症・情緒特別支援学級在籍者は約 5.1 倍となっている。また、市立幼稚園においても、特別な配慮が必要な幼児を多く受け入れ、園によっては 2 割を超えている園もある。（第 1 回検討委員会資料参照）

そこで、現在の 1 学級定員 35 名（3 歳児は 20 名）のクラスに加えて、新たに、特別な配慮が必要な幼児一人一人に応じたきめ細かな教育・保育を行う 3 歳児を中心とした少人数支援クラス（定員 5 名程度）を設ける。

### ■ 少人数支援クラス（仮称）の設置及び職員の加配について

	少人数支援クラス（仮称）の設置及び職員の加配について
目的	小学校への円滑な就学を目的に一人一人にきめ細かな教育・保育を行う
対象	主に、特別な配慮を必要とする 3 歳児 （比較的軽度の知的障がい及び情緒面・行動面に課題のある幼児等を想定） ※少人数支援クラスにおいて安心して集団活動を送ることができるような力を身につけ、4 歳・5 歳児の進級時においては、職員を加配した通常クラスに進級する。
在籍	3 歳児クラス内 少人数支援クラス
定員	5 名程度
職員配置	少人数支援クラスの担任 1 名 + 必要に応じて加配職員（学級支援員含）1 名程度
設置園	モデル的に 1 園から設置 ※ニーズを見極めながら支援体制を充実し設置園を拡充していく
候補園	※既存の施設において、3 歳児～5 歳児の通常学級 3 保育室に加えて、 ○通級指導教室・・・1 保育室 ○少人数支援クラス・・・1 保育室 の 2 室の設置が可能な幼稚園は、碩台幼稚園、一新幼稚園、川尻幼稚園の 3 園。 ※将来的に幼小（中）一体整備する場合は、施設整備時に保育室を確保する。
メリット	・少人数の中で幼児一人一人に丁寧に関わることができる。
デメリット	・受入可能人数に限られる（5 名程度）

### (参考1) 少人数支援クラスと進級のイメージ



※加配職員には学級支援員を含む

### (参考2) 市立幼稚園における定員及び園児数

令和3年(2021年)5月1日現在

	定員	3歳児		4歳児		5歳児		合計		充足率
		園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	
碩台幼稚園	90	12	1	8	1	9	1	29	3	32.2%
一新幼稚園	176	13	1	15	1	20	1	48	3	27.3%
向山幼稚園	125	14	1	11	1	15	1	40	3	32.0%
川尻幼稚園	90	9	1	11	1	16	1	36	3	40.0%
楠幼稚園	125	8	1	11	1	14	1	33	3	26.4%
隈庄幼稚園	180	29	2	36	2	28	1	93	5	51.7%
合計	786	85	7	92	7	102	6	279	20	35.5%

### (参考3) 各園の定員及び保育室の状況等

#### ■現状

R3	定員	保育室数	保育室1	保育室2	保育室3	保育室4	保育室5	保育室6
碩台幼稚園	90	5	3歳児(20)	4歳児(35)	5歳児(35)	ことばの教室	ことば待合室	
一新幼稚園	176	6	3歳児(18*2)	4歳児(35*2)	5歳児(35*2)	空き	空き	空き
向山幼稚園	125	4	3歳児(20)	4歳児(35)	5歳児(35*2)	空き		
川尻幼稚園	90	5	3歳児(20)	4歳児(35)	5歳児(35)	あゆみの教室	あゆみ待合室	
楠幼稚園	125	4	3歳児(20)	4歳児(35)	5歳児(35*2)	空き		
隈庄幼稚園	180	6	3歳児(20)	3歳児(20)	4歳児(35)	4歳児(35)	5歳児(35*2)	空き
合計	786	30						

1学級の定員・・・3歳児20名(一新幼稚園のみ18名)、4歳児35名、5歳児35名

#### ■少人数支援クラス

	定員	保育室数	保育室1	保育室2	保育室3	保育室4	保育室5	保育室6
碩台幼稚園	70	5	3歳児(20)	4歳児(25)	5歳児(25)	ことば・あゆみ		
(例) 一新幼稚園	70	6	3歳児(15)	4歳児(25)	5歳児(25)	ことば・あゆみ	3歳児(5) 少人数支援	
向山幼稚園	70	4	3歳児(20)	4歳児(25)	5歳児(25)	ことば・あゆみ		
川尻幼稚園	70	5	3歳児(20)	4歳児(25)	5歳児(25)	ことば・あゆみ		
楠幼稚園	70	4	3歳児(20)	4歳児(25)	5歳児(25)	ことば・あゆみ		
隈庄幼稚園	140	6	3歳児(20)	3歳児(20)	4歳児(25)	4歳児(25)	5歳児(25)	5歳児(25)
合計	490	30						

1学級の定員 3歳児20名(15名、少人数支援5名)、4歳児25名、5歳児25名

## (1) 現状における入園入級等の決定について

### ア 市立幼稚園

園長判断において決定。定員を超えた場合は抽選にて決定。

### イ ことばの教室・あゆみの教室

園長面接後、園長判断において決定。後日、就学支援委員会に報告。

### ウ 小学校における特別支援学級・あおば支援学校

教育相談後、就学支援委員会において審議。審議結果をもとに総合支援課において決定。

## (2) 入園までの流れ

9月	願書配布 ※体験入園等
10月	願書受付
11月頃	入園説明会
12～1月	新入園児面接
4月	入園

## (3) 私立幼稚園の受け入れ状況（令和3年度（2021年度））

○出水幼稚園 特別支援クラス ・受入人数 8名 ・職員体制 4名 ・3歳児を中心に受け入れ	○帯山幼稚園 特別支援クラス ・受入人数 7名 ・職員体制 3名 ・3歳児を中心に受け入れ
--	--



### 【意見交換】

○いずれの園も、特別支援クラスへの入園希望者の多くを受け入れられない状況（ほとんど受け入れられない又は数名程度しか受け入れられない等）であり、また、新たな人員配置等を必要とすることから、市内の私立幼稚園自らが特別支援クラスを設置し、受け入れを拡充していくことは見込まれないのではないか。

○市立幼稚園が特別支援学級等を設置し、支援が必要な幼児の受け皿となることは大変意義がある。

○児童発達支援事業所等の療育施設との併用である幼児についても、まずは幼児の生活のベースとなる園が必要である。3歳児中心の特別支援クラスで生活の基礎となる力を身に付け、4歳・5歳児には通常クラスに移行する。

○何の準備もなく、特別な配慮を要する幼児を通常学級に入級させると、幼児同士のトラブルから幼児だけでなく保護者も孤立し助けを求めたくても求めることができない状況に陥ってしまう。結果的に保護者のためにも幼児のためにもならない状況となる。